

飛騨
「古川まつり」視察

去る4月20日、今年の山車まつり視察ツアーは、岐阜県飛騨市の「古川まつり」を訪ねてきました。保存会会員を中心に22名の参加をいただき、飛騨の春祭りを楽しんできました。



舞台保存会の山車まつりツアーも今年で5回目となります。これまでではみな秋・冬の祭りでしたが、今回は春祭りをと考へ、犬山祭りも気になりましたが、奥飛騨の床しい祭りを訪ねることにしました。古川まつりには9台の屋台が出演します。基本的に高山の屋台と同じ構造の三層造り

で、大変立派なものです。軒の低い昔ながらの街並みの中をゆらゆらと曳かれてゆく姿は、実に趣深く、ビルの谷間を走り抜ける山車と違って、昔の舞台屋台祭りは、このような有り様だったのだらうと感じさせてくれます。

古川の町も、すべての家が玄関前に祭り提灯を掲げて祝いの装いを整え、この町がこの祭りをどれほど大切にしているかが偲ばれました。かつては天神祭りでも店先ごとに柱付きの提灯を掲げ、このような景色が見られたそうですが、近代化により町の姿も変わり、ほとんど見られないのが残念なことです。



屋台の素晴らしさもさることながら、町の美しさに感銘した古川まつりでした。



舞台保存会総会
開催される

6月7日、梅風閣にて松本深志舞台保存会の総会が開催されました。舞台保存会は平成7年10月に発足したもので、今年が21年目、総会も21回目となります。今年役員改選の年で、これまで4年間会長を務められた小池町の関口隆男さんが勇退され、新会長に本町三丁目の石塚栄一さんが選任されました。

さて、このたびの総会に際しましては、舞台修復の完了を受け、舞台修理審査委員会と舞台修理プロジェクトの解散式が行われました。どういふことかと申しますと、舞台の修復事業は平成10年頃よりスタートしましたが、具体的にどのような形で舞台を修復したらよいか判り

ません。殊に文化財としての舞台修復については保存会に経験も知識ありませんでした。

そこで結成されたのが、舞台修理審査委員会と舞台修理プロジェクトです。審査委員会は松本市文化財審議委員の中川治雄先生を委員長とし、信州大学工学部建築学科の土本俊和先生の指導の下、修理方針を策定します。この修理方針に則り具体的な修復工事を行うのが舞台修理プロジェクトで、これは地元の職人集団で会長を古民家再生で全国的に著名な降幡廣信先生に務めていただきました。こうして深志舞台はすべて文化財としてふさわしい修復を遂げることができたわけです。

舞台修復は松本市の理解も得て順調に進み、平成26年にすべて完了しました。そこでこの度めでたく修理組織の解散式となった次第です。解



散式では上記の三先生に加え、組織を運営していただいた増田博志先生、大蔵治さん、早田寛弥さんに感謝状と記念品を贈りました。先生方、本当にありがとうございます。そして、おつかれさまでした。



式後、大蔵さんが挨拶で述べておられましたが、今後は修復された舞台の保管場所、展示施設のことが気になります。それが石塚会長以下新体制の第一の課題となりましょうか。



ふかし

深志神社社報 第19号

平成28年夏号

深志神社は信州松本城下
南深志の地四十八ヶ町
氏子の守り神さまです



7月24日朝 神楽殿の町会提灯、祭礼幟



7月24日夕 町内舞台の曳き入れ



7月24日夕 町内舞台の整列

7月25日朝 元禄神輿と松深会神輿



ふかし 深志神社社報 第19号

発行日 平成28年6月30日
発行所 深志神社社務所
〒390-0815
松本市深志3丁目7番43号
電話 0263-32-1214
FAX 0263-32-5908
http://www.fukashi-tenjin.or.jp
印刷 (株)日本広告

(3,500部)



深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

平成28年度 深志神社例大祭(天神祭り)

御神幸式 神輿渡御巡路 A (車載) 宮村宮神輿

7月25日(月) 午後2時～5時30分

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとが隔年となります。本年は東(清水)先回りです。

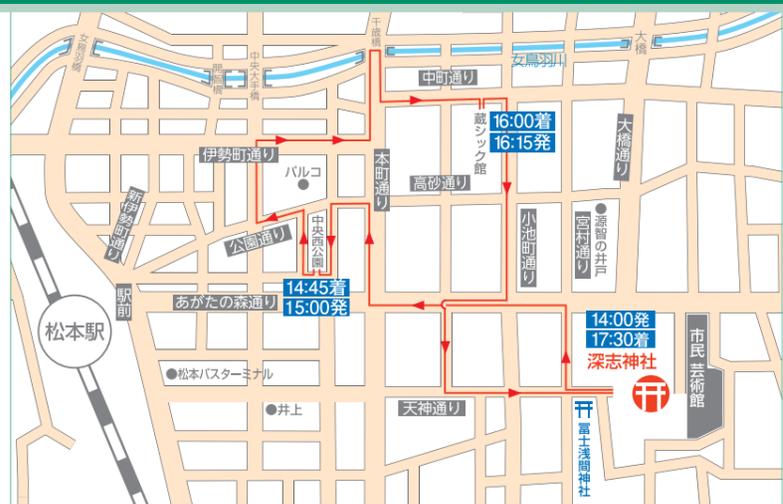


お神輿をお迎えしましょう

- ◆ 一年に一度のご神幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様のご生活をご覧になると共に、氏子の方々ご神様が身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。
- ◆ 中心市街地を巡られる元禄神輿は松深会の万燈神輿のあとに、また氏子全域を巡られる車載のお神輿は先触れの広報車が通って間もなく参りますので、家族揃ってお迎え、おまいりください。家族の平安な姿こそ、神様がもっともお喜びになります。

【お注連についてお願い】
町内に張られた注連縄を取り外すのはお神輿が通られた後とさせていただきます。

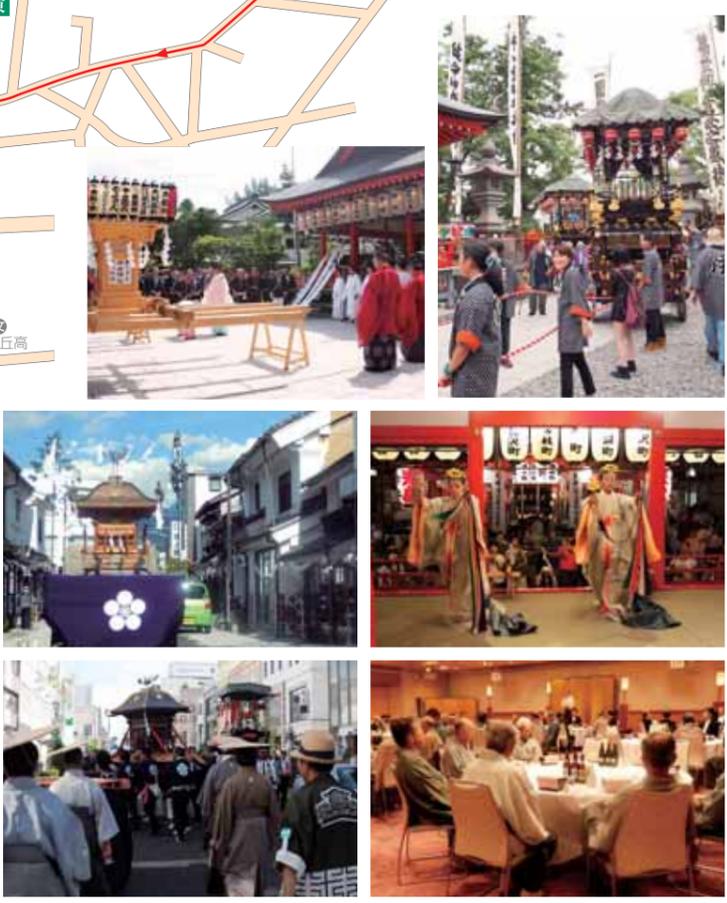
元禄神輿渡御巡路 B 天満宮神輿



信州松本松深会ほかの人たちの奉仕により、かつがれて渡御します。

神輿かつぎを 奉仕しませんか？

天神祭りのご神幸(25日)で、神輿をかつぐ方や威儀物(神様をお守りする桶や鉾など)をもつていただく方(神輿渡御奉仕員)を大募集!! 女性も歓迎。氏子や、その他どなたでもお祭りにご奉仕できる貴重な機会です。ご希望の方は神社までお申し込みください。



【前夜祭】7月24日(日)

17:00～ 舞台曳き込み
17:00～19:00 日本舞踊奉納
19:00～ 前夜祭神事
20:00～ 奉納舞・詩吟・献舞

【例大祭】7月25日(月)

11:00～ 例大祭神事
13:00～ 穂高太鼓奉奏
14:00～17:30 御神輿御巡行
15:00～ お囃子スクール
15:30～ 舞台出発



例祭前に注連縄張替

もうすぐ天神祭りです

八坂祭でお子様の 健やかな成長をお祈りしましょう

八坂祭は、梅雨が明け夏を迎えるに際して病気除けや虫封じなど子どもの健やかな成長を祈る祭です。14日の宵祭には霞につけた五色の幟を奉納する多くの子どもたちで賑わい、あわせて家族で家内安全を祈る姿が見られます。

信仰を集めていた尾張の津島神社(天王社)から分霊をいただいて祀られました。

なお、五色の幟紙と霞はスーパー、八百屋 魚屋などや当社でも扱っています。浄書は神社でもできます。(浄書例)

八坂大明神

奉納
○(生年) 年生 ○歳(女) 氏名

